

支援団体が対象者の経歴を十分に把握。 再就職の際も本人の資質を活かした在宅雇用を可能に。



在宅雇用の経緯

脳性まひにより上下肢に障害のある末永慎一さんは、専門学校で習得したパソコンのスキルを生かし、平成元年に関西のソフト開発会社に就職。在宅雇用でプログラム開発を担当し、打ち合わせの際は単身来社、ホテルに一泊して出社するなど積極的に仕事をこなしてきました。私生活では結婚、子どもにも恵まれ仕事への意欲も増してきたものの、平成14年にリストラにより退職。その間、自らが立ち上げたホームページを売り込み就職活動をする一方で、学生の頃より交流のあった在宅就業支援団体「バーチャルメディア工房ぎふ」に相談しました。

折良く、支援団体のサポートにより3カ月間の請負業務をこなした後、平成15年に支援団体から推薦され、デジタルコンテンツ（WEB、DVD等）制作、システム開発を行うサンメッセ株式会社マルチメディア部に就職しました。

同企業が完全にバリアフリーではないこと、スキルの的にも在宅雇用が可能なおかげから、業務連絡はメールで行い、進捗管理は電子日報を活用しています。現在は、比較的开发に時間を要するシステムのプログラム開発に携わり、意欲的に仕事に向き合っています。

Profile

支援団体 特定非営利活動法人 バーチャルメディア工房ぎふ

- 所在地：岐阜県大垣市加賀野 4-1-7
- ☎ 0584 (77) 0533 FAX 0584 (77) 0533
- URL：http://www.vm-studio.jp/
- 在宅就業支援の利用者：15名（うち重度障害者 14名）
（内訳）身体障害者 …… 14名
 その他 …… 1名

平成10年より重度障害者の在宅就業支援を開始した特定非営利活動法人。重度障害者が社会経済活動に参画し、活躍できることを目標に「ITを活用した在宅就業」支援事業を行っている。同工房に応募し、選考された人は「在宅ワーカー」として登録され、WEBページの制作やソフトウェアの開発など、自分のスキルを活かした業務を行っている。平成18年5月に在宅就業支援団体に登録。

企業 サンメッセ株式会社 マルチメディア部 (サンメッセ情報館)

- 所在地：岐阜県大垣市加賀野 4-1-19
- ☎ 0584 (75) 6811 FAX 0584 (75) 6813
- URL：http://www.sunmesse.co.jp/
- 業種：印刷業
- 事業内容：デジタルコンテンツ（WEB、DVD等）制作、システム開発

従業員数（本社）720人（平成20年3月期）
うち在宅雇用者数 …… 1名
うち障害者の在宅雇用者数 …… 1名

マルチメディア部はデジタルコンテンツ制作、システム開発を中心としており、スキルの高いプログラマーを募集していた。障害のある方の在宅雇用については前例がないため、社内に担当責任者を配置し、メール等の利用により勤務時間外での連絡も取れるように工夫している。

在宅雇用者 末永 慎一さん

- 在住地：岐阜県在住
- 障害種別：身体障害（1級）
- 障害状況：脳性まひ。車椅子を補助具として使用。自立度が高く、食事の介助のみ家族が行っている。仕事での介助は不要。

養護学校においてパソコンをベーシックより習得し、パソコン通信による情報収集やコミュニケーション手段としての利用もいち早く確立していた。パソコン歴は長く、タイプライターやワープロを含め30年のキャリアを持つ。前職ではプログラマーとして14年間の在宅雇用の経験があり、現在の仕事も必要に応じて出社、打ち合わせ等にも参加している。

支援団体

特定非営利活動法人
バーチャルメディア工房ぎふ

支援内容紹介

IT人材養成の拠点の一つとして、各団体との連携を強化。パソコンを中心とした業務の指導や資質向上のための研修を実施。



理事長
上村 数洋さん

■ 特定非営利活動法人
バーチャルメディア工房ぎふ

■ サンメッセ株式会社
マルチメディア部

■ 在宅雇用者 末永慎一さん/まとも

在宅雇用を促めるために積極的に研修を展開

「末永さんとは20年来のお付き合いで、初めて会ったのは彼が養護学校高等部の頃（昭和61年）にさかのぼります。当時「情報化社会と私」という題材で論文募集があって、同じ表彰台に立ったのがきっかけです」とバーチャルメディア工房ぎふの上村数洋理事長。以来、進学や就職、ご家族の話など、BBSやメールを利用した交流が今も続いており、末永さんが日頃感じていることを気軽に話せる間柄になっています。

バーチャルメディア工房ぎふは、中部圏の一大IT拠点であるソフトピアジャパンに平成10年に設立。ITを活用した重度障害者の在宅就業を行う団体として、WEBサイトの構築、各種印刷物制作、ソフトウェア開発、ネットワーク構築などの仕事に加え、IT関連の人材育成・研修にも力を注いでいます。「私たちは福祉用具等の共同開発にも



▲依頼を受けて制作したキーボード入力用のプロテクトカバー。丸い穴が付いており、誤入力を防ぎます。

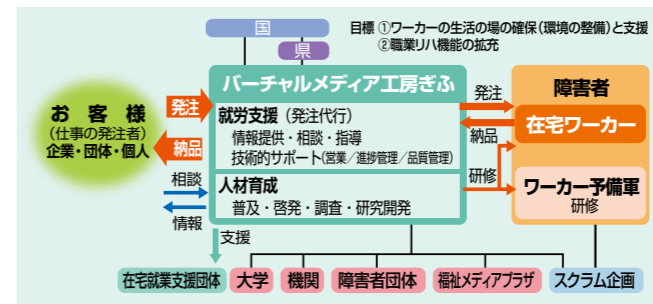
参画しています。末永さんからはキーボード入力用のプロテクトカバーの依頼があり、ボランティア団体を通じて製作しました」と上村理事長。平成12年から始まった身体障害者の情報処理機器等を活用した在宅就業支援モデル事業では、すでに在宅雇用者としてキャリアのある末永さんを講師として招き、障害のある方が仕事とどう向き合うべきかについて自身の経験を踏まえて受講者に話してもらいました。

地の利を活かした交流と連携。在宅雇用の創出に向けて活動

バーチャルメディア工房ぎふは、登録された在宅ワーカーの就業支援を行うとともに、IT関連の企業・団体・個人との結びつきを数多く持っています。末永さんが14年間勤めたソフト会社を退社し、再就職の相談に来たときも、これまでの経歴を十分に把握できていたため、請負でデータ入力の仕事（3カ月間）を依頼することができました。

時期を同じくして、ソフトピアジャパン内にマルチメディア事業部を有するサンメッセ株式会社から、障害者雇用の相談を受けました。そこで、高いスキルを持つ末永さんを推薦することに。採用後は、同じ敷地にあるという地の利を活かし、企業との定期的な交流、意見交換を通じ、継続雇用をフォローしています。

◆ 取り組みイメージ



▲2カ月に一度開かれる在宅ワーカーのミーティング。仲間同士の情報交換も盛んに行われています。



岐阜県大垣市にあるソフトピアジャパン。人材育成、産業高度化などを主な機能として約140社が活動しています。



岐阜県立国際たくみアカデミー職業能力開発校の委託を受けて実施している「職業能力訓練」の様子（3カ月間）。



視覚障害、身体障害があっても入力しやすいキーボード。他にも障害に合わせた道具の開発・改良を行っています。

■特定非営利活動法人
バーチャルメディア工房ぎふ

■サンメッセ株式会社
マルチメディア部

■在宅雇用者 末永 慎一さん/まとめ

■特定非営利活動法人
バーチャルメディア工房ぎふ

■サンメッセ株式会社
マルチメディア部

■在宅雇用者 末永 慎一さん/まとめ

企業

サンメッセ株式会社
マルチメディア部

支援を受けて

メールと電子日報を活用して、在宅雇用でも毎日の業務進捗を上手に管理。長期のプログラム開発の貴重な戦力に。



マルチメディア部ソリューション係
係長
服部 光伸さん

Work contents

末永さんの業務内容

- サンメッセ株式会社のマルチメディア部に配属。
- 企業より受注を受けたシステム関係のプログラム開発に従事し、比較的規模が大きく、開発に時間を要するような業務に関わっている。

本人のプログラムスキルを最大限に活かせる部署に配属。業務の進捗はメールで

当社が求めていた人材は、システム開発に関する高いスキルをもったプログラマーです。そこで、岐阜県のIT拠点ソフトピアジャパン内に事務所があるバーチャルメディア工房ぎふに打診し、即戦力として職場に投入できる人材を推薦してもらいました。当初は通勤が条件でしたが、末永さんの資質と業務内容から在宅雇用でも問題ないと判断、末永さんに依頼するプログラムは開発スパンが1年以上かかるような大きな仕事を依頼しています。採用時、末永さんはすでに14年間のプログラマーとしてのキャリアがあり、システム開発に関する教育や研修などは特に行っていません。

当社では在宅雇用の前例がないため、担当責任者を置き、業務の進捗や相談などの窓口としました。担当責任者と末永さんとのメールのやりとりは1日4~5件程度。業務時間外でも連絡が取れるようにしています。また、急ぎの調整が必要な時は、末永さんがパソコンごと当社に運び込んで作業することもあります。



▲来社による打ち合わせは月に一度（新規案件に入るときは臨時で打ち合わせ）。担当責任者の服部係長と末永さんとのメールのやりとりはこれまで4,300通近くにのぼります。

電子日報を活用して業務時間、仕事の問題点を共有・把握

毎日の業務管理は、末永さん自身も開発に携わった「電子日報」というソフトを利用しています。終業時にこのソフトに入力してもらうことで、勤務時間集計や原価管理をはじめ、仕事の問題点などを担当責任者と末永さんがお互いに把握することができます。

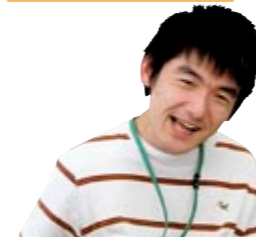


▲電子日報の入力フォーム（社員が毎日入力）。どの仕事にどれくらいの時間がかかったが一目で分かります。

末永さんの雇用状況	
雇用形態	パート社員
勤務時間	7時間40分/日(38.3時間/週) ※残業は、5時から5時30分の間にメールにて許可を取る。
賃金	時間給
福利厚生	社会保険有・健康診断1回/年
設置機器	開発用パソコン2台
購入、設置費用	約60万円（通信用ソフト含・通信費用は個人払い）
メンテナンス	会社負担
消耗品の購入	必要に応じて会社で支給
雇用にあたり活用した制度	なし

在宅雇用者 Interview

マルチメディア部ソリューション係
末永 慎一さん



一番大切なことは「自分がなぜ働きたいのか」ということ。プログラマーとして会社にもっと貢献していきたいと考えています。

途中でブランクがあったものの、在宅雇用として勤務して約18年になります。若い頃は自分で稼いだお金で楽しみたいと思っていたのですが、今では家族のためにと目的が変わっています。変わらないのは障害に関係なく「働いて当然」ということでしょうか。在宅雇用で採用してくれたサンメッセ株式会社に巡り会えたことに、本当に感謝しています。仕事環境もパソコンのハード、開発言語ソフトなど最新の設備を揃えていただきました。常に新しいスキルを

身につける必要はありますが、開発者にとって新しいものにトライできるのは嬉しい限りです。今後は、会社にもっと貢献できるように他部署にも自分のスキルをアピールしていきたいと考えています。

在宅雇用で求職している人は「なぜ働きたいのか」という意志を明確に示すこと。そして体調を崩さないための自己管理をしっかりと考え、就職に臨むことが大切だと思います。

支援関係早見表

関係者	サンメッセ株式会社 マルチメディア部	特定非営利活動法人 バーチャルメディア工房ぎふ	末永さん
就職・雇用ニーズ	・新規事業部の立ち上げに伴い、システム開発のプログラムができる人材を求めている		・ソフト会社にプログラマーとして14年間在籍（在宅雇用）。退職後、そのスキルを活かした仕事を探していた
就職前	トレーニング期	相談 ・プロテクトカバー製作 ・3カ月間の請負を紹介	相談 ・再就職を希望 ・ホームページを活用して自分のスキルを売り込み
	就職準備期	相談 ・障害者雇用について相談	末永さんを推薦 ・末永さんの経歴、実績などの情報を提供
採用決定			
就職後	初期段階	環境整備 ・システム開発用PC、資料の購入 進捗管理 ・来社による打ち合わせ ・メール、電子日報による確認	システム開発 ・電子日報の開発 ・成果物をサーバーにアップ
	現在	継続雇用 ・開発スパンの長いシステム開発業務を依頼 ・短期間のシステム開発を部分的に依頼	フォローアップ ・人事担当者へアンケートの実施 ・地の利を活かした密な交流 フォローアップ ・生活面の相談を含めフォローアップ

まとめ

この事例におけるポイントと評価

末永さん自身のスキルの高さと在宅雇用の実績に加え、「働く意志」を外に向けPRし続けてきたことが再就職を成功させた一番のポイント。支援団体が末永さんの資質を以前より十分に把握していたことで、企業側の求める人材を推薦することができた。企業としては障害のある方の在宅雇用は初めてだったものの、担当責任者を配置、電子日報を活用するなどして、業務における連携は良好である。なお、今回の雇用事例を企業が啓発セミナーや広報などの場で何度か紹介し、県内外企業からの注目度も高い。

今後の目標

開発スパンの長いシステム開発業務は、在宅雇用という就業スタイルに向いているが、一方で、細やかな仕事を頻りに依頼したいとき、小さいエラーが発生したときに軌道修正がしにくいなどの問題を抱えている。メールだけでは詳細な内容を伝えることに限界があるため、今後は担当責任者だけでなく、他の社員とも直接打ち合わせを行い、コミュニケーションできる機会を増やしていく構えである。